

防火講演会

関東支部研究発表会にあわせて、「先達に聞く」、「博士論文取得者に聞く」を企画・開催しています。

先達に聞く

博士号取得者に聞く

	先達に聞く	博士号取得者に聞く
2019年度	新型コロナウイルス感染拡大防止措置により中止	
2018年度	未実施	
2017年度	山田誠氏 木造防火研究の経緯と木造防火法規の変遷	城明秀 建築物の廊下等における群集歩行性状に関する研究
2016年度	青木義次氏 リスク 誤解のリスク	山下平祐氏 火災加熱を受けるコンクリートの熱ひずみに及ぼす水分の影響
2015年度	遊佐秀逸氏 これまでの研究等	太田充氏 スプリンクラー設備を考慮した避難安全設計を目指して
2014年度	佐藤博臣氏 私の防火研究をかえりみて	西野智研氏 津波火災の防災計画手法の構築に向けた研究
2013年度	鈴木弘之氏 鋼構造物の崩壊温度と終局強度型の鋼構造耐火設計	峯岸良和氏 煙突効果の利用と制御・避難安全性から見た開放型アトリウムの設計手法
2012年度	矢代嘉郎氏 建築防火の転機と技術開発のココロ	水上点晴氏 耐火試験結果の読み替え手法について
2009年度	小林恭一氏 防火法令強化の歴史と火災統計から見たその効果	土屋伸一氏 医療・福祉施設の防災計画に関する研究
2008年度	室崎益輝氏 防火研究の心と技と体	道越真太郎氏 火災加熱を受けるコンクリートの圧縮強度とひずみ挙動
2007年度	上杉英樹氏 建築耐火構造の研究を通して	山内幸雄氏 初期火災時における火災感知器の応答予測—シミュレーション技術の現状と課題
2006年度	菅原進一氏 防火研究の展望	常世田昌寿氏 防耐火部材認定試験の現場より
2005年度	笠原勲氏 より合理的な煙制御を目指して	安井昇氏 歴史的町並みと伝統木造の再興のための京町家外周部材の延焼防止性能評価・改良に関する研究
2004年度	濱田信義氏 防災設計30年・余談あれこれ	池田憲一氏 標準加熱を受ける鋼管コンクリート柱の挙動と耐火設計への適用に関する研究
	—	平島丘夫氏 火災加熱を受ける鋼構造部材の変形性状に関する実験的研究
2003年度	—	村岡宏氏 都市部における伝統木造建築の火災安全に関する研究
	—	水野雅之氏 建物火災時における避難安全評価体系の分析と避難開始予測に関する研究
	—	中野美奈氏 防火対策の設置と信頼度が避難安全性とコストに及ぼす影響
2002年度	—	森田武氏 鉄筋コンクリート部材の爆裂を考慮した構造耐火性に関する研究
	—	久保田勝明氏 避難行動特性である向光性に関する実験的研究
2001年度	—	松山賢氏 性能的火災安全設計に用いる火災性状モデルの構築と火災安全性能評価への応用
	—	掛川秀史氏 火災シナリオに基づく避難安全評価手法に関する研究
2000年度	—	林広明氏 建築火災時の避難経路選択に建築的要素が与える影響に関する研究
1998年度	斉藤光氏 耐火設計法の確立を目指して	
1997年度	明野徳夫氏 21世紀に向けて建築物に求められる機能と安全性	
1996年度	高野孝次氏 防耐火試験30年をふりかえって	
1995年度	寺井俊夫氏 (先達に聞く 第11回)	
1994年度	神忠久氏 私の研究	
1993年度	森脇哲男氏 私の防火研究の歩み	
1992年度	関根孝氏 建築防火研究の諸断面	
1991年度	川越邦雄氏 防火放談	
1990年度	塚本孝一氏 火災現場調査の思い出のひとつ	
1989年度	松下清夫氏 戦前・戦後の建築防災の考え方	
1988年度	戸川喜久二氏 避難時の群集流動の考え方	
1987年度	前川喜寛氏 建築基準法制定から45年改正まで顧みて	
1986年度	堀内三郎氏 戦後防火研究の系譜と今後の動向	
1985年度	藤田金一郎氏 都市大火と防火・これまでの研究を顧みて	